

西浦校区まちづくりプラン

<西浦校区振興計画>



【 稲の掛干しが見事な西浦の田んぼ 】

西浦の豊かな恵みを活かし、
元気で、安心安全な地域づくり

平成30年3月作成

始良市

西浦校区コミュニティ協議会



【西浦地区いきいき交流センター】

「西浦校区まちづくりプラン」について

平成27年度に西浦校区コミュニティ協議会が発足しました。それまでの公民館組織からの移行でしたが、この趣旨は、自治会をはじめとする地域組織の枠を超えて、校区内で活動する多くの公共的団体（自治会・PTA・子ども会・消防分団・老人会等）が一つの組織にまとまって、西浦校区のまちづくりを目指すものです。

このまちづくりの指針となるのが「まちづくりプラン（校区振興計画）」です。平成29年度に作成委員会を立ち上げ、7回の会合を開き、話し合って作成しました。委員だけでなく、校区民全員の思いを反映させるため、アンケートを実施しました。そして出された意見の中から取捨選択して、これから約10年先を見越した短期・中期・長期的な展望を持って、西浦校区で安心して安全に暮らせるために取り組んでいく内容を取りまとめました。

「まちづくりプラン」を作成するに当たって、委員は大変な苦勞がありましたが、これは校区のまちづくりをしていく上で、大きな財産となるものです。

《目 次》

| | |
|-------------------------------|-----------|
| はじめに | 1 |
| I 西浦校区の概要 | |
| 1 位置図 | 2 |
| 2 特徴 | 3 |
| 3 特色ある史跡・民話 | 4 |
| 4 地域資源 | 9 |
| 5 協議会の運営組織図 | 10 |
| 6 協議会の主な取組 | 11 |
| II 西浦校区の現状と課題 | |
| 1 現状 | 11 |
| 2 課題 | 12 |
| III 西浦校区のめざす将来像 | |
| 1 スローガン | 15 |
| 2 各分野の基本方針 | 15 |
| IV 主な取組と実施時期・役割分担 | |
| 1 役割分担や実施時期 | 16 |
| 2 体系のイメージ | 16 |
| 3 各分野の取組 | 17 |
| V 計画の推進に向けて | 21 |
| VI 資料編 | |
| 1 計画作成の経過 | 22 |
| 2 西浦校区まちづくりプラン作成委員会の委員名 | 22 |
| 3 「まちづくりプラン」アンケート集約 | 24 |

はじめに

県道42号線の長い田平坂を上ってくると、私たちの心のよりどころと
している大山祇神社と、そこにそびえ立つ銀杏の大木が迎えてくれます。

西浦校区は小学校を中心に6自治会からなる自然豊かな小さな里です。
平成29年県史跡に認定された歴史街道「掛橋坂」は、事業完成式もあり、
今後、観光スポットとして期待されている所です。

さてここ近年、県道沿いを除く自治会は、世帯数・人口ともに減少し、
限界集落となりつつあります。私たちは先輩の築いた自然いっぱいの西浦
を守り、後世に引き継いでいかなければなりません。

そこで西浦校区コミュニティ協議会では、平成29年4月にまちづくり
作成委員会を立ち上げ、「まちづくりプラン」の作成を行ってきました。

西浦校区民全員で、自然環境を活かして、安心安全に暮らせる里にしま
しょう。この「まちづくりプラン」の実現に向けて、皆様のさらなる御理
解と御協力をよろしく申し上げます。

平成30年3月吉日
西浦校区コミュニティ協議会
会長 本村 正一

I 西浦校区の概要

1. 位置図

【始良市】



【西浦校区】



2. 特徴

西浦校区は、始良市の最西端にあり薩摩川内市の藺牟田と隣接している。日本一の大楠で有名な蒲生町の中心から、北西に約7km離れた標高約150mの山間部に位置し、松川内・社野・火之宇都・井ヶ屋・西浦団地・西浦下の6自治会から構成されている。明治23年蒲生村となり、昭和3年から平成22年3月まで蒲生町だったが、加治木町・始良町・蒲生町が合併して始良市となった。

西浦校区は空港への空港バスも停車するので、交通の便が良いところである。中央を川内と加治木を結ぶ県道42号線が走り、始良市街への通り道に位置するので、交通量はかなり多い。

校区の入り口には、関ヶ原合戦の翌年創建の大山祇神社があり、境内には大きな銀杏の木がある。秋には見事に紅葉し、人々の目を楽しませてくれる。

中央を流れる2級河川の西浦川(火之宇都橋より上流は火之宇都川)は、小学校前を流れ、田平川に合流している。西浦川沿いには、蛍が生息し、毎年初夏の訪れには、目にも鮮やかな夜の舞いを楽しませてくれる。また西浦下の西浦川にはカジカガエルが生息し、澄んだ高音のきれいな鳴き声を聞くことができる。

冬には漆との境にある標高483.5mの明石山に霧がかかり、幻想的な風景をかもし出す。明石山にまつわる民話も残っている。

1年を通して野鳥の澄んだ声が集落中に響き渡り、きれいな水で育てられるおいしい米・メアサ杉・たけのこ・わらび・ぜんまい・しいたけなどが採れる豊かな自然環境である。



3. 特色ある史跡・民話



掛橋坂 661m (江戸時代後半)

西浦下にある石畳の道である。中世の頃は板敷きの道であった。江戸時代には蒲生と藺傘田方面とを結ぶ年貢米輸送の道として、利用された。現在は県指定の史跡として、整備されている。



大山祇神社

蒲生から田平坂を上り西浦に入ると、見えてくるのが、銀杏の大木を有する大山祇神社である。年間を通じて自治会ごとに掃除がなされ、校区民の心のよりどころになっている。



大山祇神社の紅葉した銀杏の大木

秋の紅葉の時期は、車を止めて、銀杏の写真撮影をするお客さんも多い。



石敢當（せっかんとう）

西浦下に、石敢當がある。

上部に梵字（ぼんじ）が刻まれている。このような石敢當は極めて珍しい。

石敢當・・・「石敢當」などの文字が刻まれた魔よけの石碑や石標
梵字・・・ブラーフミ文字と呼ばれる古代インドで発祥した文字



明石山

火之宇都の北にある最も高い483.5mの山である。奈良時代の頃、烽（とぶひ）が置かれ、非常事態の際に火をたいて煙で合図した。烽の遺跡が山頂にあったが、今は倒壊していない。20年程前には、登山道があり登山ができた。



蛍やカジカガエルが生息 (西浦川)

西浦下の西浦川では6月頃になると蛍やカジカガエルが見られる。

カジカガエルは「ヒュルルルー」という鹿の鳴き声のような、澄んだ高音のきれいな声で鳴く。

明石山にまつわる民話 かみしばい「権現堂のてんぐ」

①

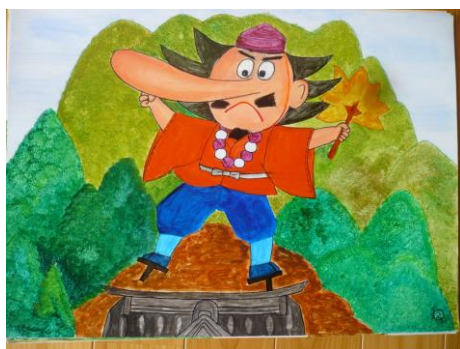


①この民話は、昔から蒲生に伝わるてんぐどんのお話です。

北村にある中岳という山は、昔も今も、そそり立った岩の上に、こんもりと木々を茂らせていました。

昔、その岩の上に、白山権現堂という神社があったそうな。神社のお堂はいつもきれいで、木の葉一枚も落ちていなかったと。

②



②いつの頃からか、このお堂の裏の岩場に、てんぐどんがこっそりと住み着いていたと。てんぐどんは、激しい気立てのうえに、体力をもっているの、山の上の暮らしがたいそう気に入っておった。時々、村人の様子をながめていたと。またてんぐどんは、汚れた場所が大嫌いじゃった。神社が汚れると『こげん汚れっせえ、おいがそうじをせんならんかねえ。』と思っておった。

③



③その頃お堂の山では、ときどき石が転げ落ちたり、物音がしたりして不思議なことがあるといううわさが立ち始めた。

「こんごら、山ん上でみような音がすっどな。」

「うん、なんごてやろかい。そげん言えば、こんごらお堂がわっぜきれいやっどな。」

お堂のそうじや不思議なことは、そこに住み着いたてんぐどんのしわざじゃった。きれい好きのてんぐどんはだれもないときに、木の葉が一枚も落ちておらんように、そうじをしてお

ったと。人に会いたくないてんぐどんは、人の気配がすると

「はら、だいかお参りにきやったな。みっからんごっ隠れんならよ。」

と木の上や裏山に隠れた。そしてお参りの人を早く山から下ろそうと、木の枝をゆすったり、裏山から石を転がしたりして、おどかしておった。

④



④てんぐどんが住んでいることを知らない村人たちは、神社にお参りする人が、きれいにしているのだらうと、ずうっと思っておった。ひょっとすると、だれかがこっそりとお百度参りをしているのかもと思っておった。お百度参りというのは、誰にも知られないように百回お参りをして願い事をするんじゃ。もしお参りのことが誰かに知られたら、初めからやりなおさなければならん。

⑤



⑤そうこうしているうちに、春がすぎ夏がきて、その年の秋は早くやってきた。こちよい山の暮らしもしばらくすると、寒いこがらしの吹く時がやってきた。山の木々はどんどん落ち葉をちらし始めた。そうなるるとてんぐどんのお堂の庭掃除も、いそがしくてならん。

「もう、今掃除をしたばっかいやっこて。こげんちれっせえ、はがいもんじゃ。」
お堂の庭は、岩や木の根があちこちに突き出ている、落ち葉拾いも大変じゃった。

⑥



⑥てんぐどんは腰をかがめて、落ち葉を拾いまわった。でもてんぐどんの顔の真ん中にどかんと突き出た高い鼻がたいそうじゃまだなあ。庭の石や木の根に鼻の頭をゴツン、ゴツンとぶつけてしまう。その痛いことといったら、涙が出るほどじゃった。

「アイタァタァ、アイタァタァ、こらあ痛か。」

と声を上げながら、それでも拾いまわっておった。そして、今、済んだかと思うと、木枯らしがサーと吹いて、また辺り一面、落ち葉だらけじゃった。

⑦



⑦どんなに怪力のでんぐどんでもこんなに何度も自分の鼻をゴツン、ゴツンやっていたんじゃたまらん。それに落ち葉拾いをしている間に、人のお参りに来ると、隠れねばならん。

『もう、けえなとこいは、住んごたなか。どっか行こかいねえ。よかとこいは、ねどかい。』と思うようになった。

ある日、てんぐどんは羽うちわをバサッバサッとあおぐと、中岳を後に、とんでいってしもうた。そして中岳よりも、もっと山奥の西浦の明石山に住み着いたと。

⑧



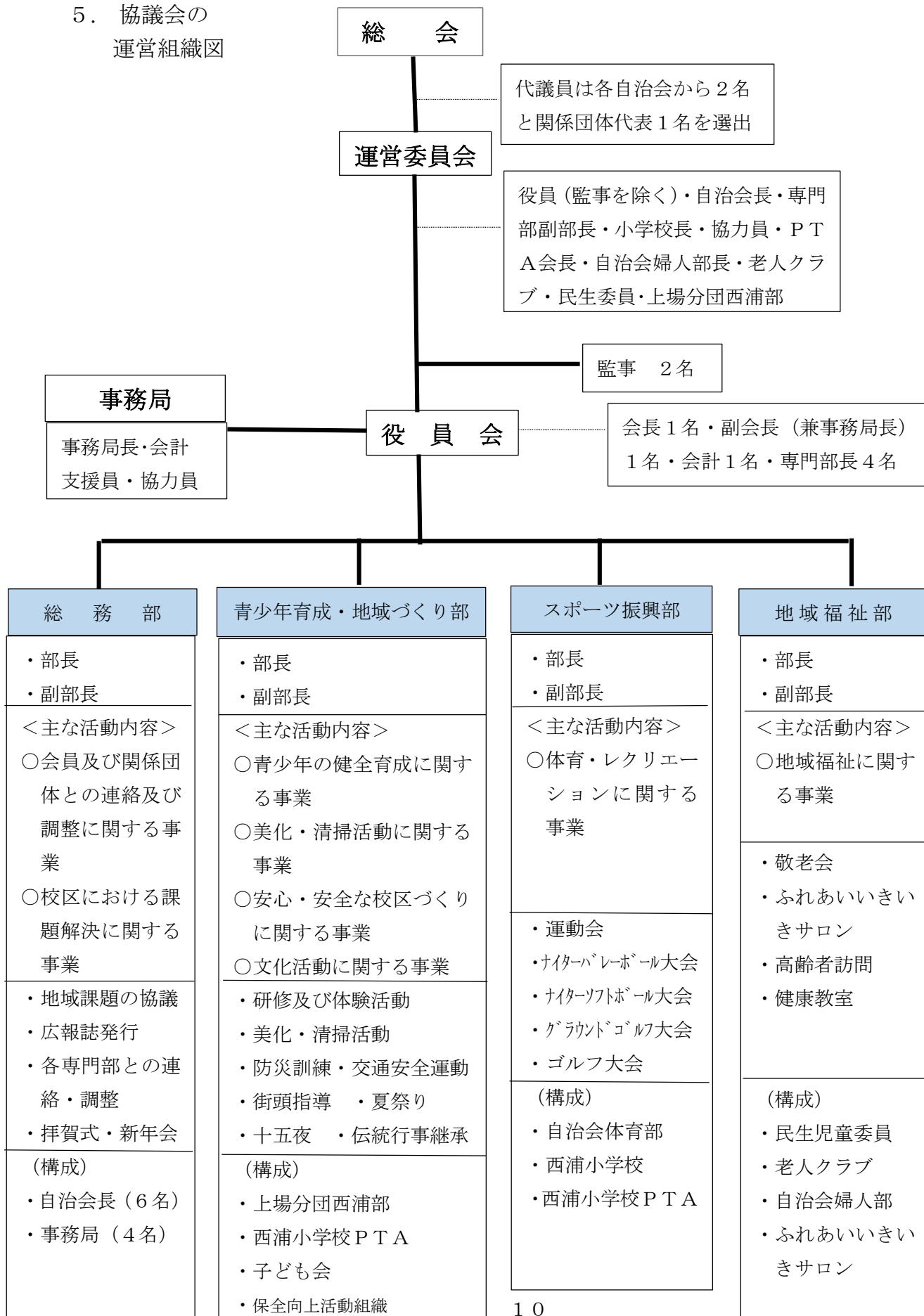
⑧明石山に移ったてんぐどんは、山の上の大岩の上に、ときどき火を灯していたそう。それが西浦の火之宇都からよく見えた。また山には、ときどき石を転がす音が聞こえたそう。

今もてんぐどんが住んでいるかはわからないが、「てんぐ岩」というのが、明石山にはあるそう。

4. 地域資源

| 交通 | | 主な公共施設 | |
|--------|----------------------------|----------------|-------------------------|
| バス | 市巡回乗合バス 空港バス | 西浦地区いきいき交流センター | |
| 道路 | 県道42号線 | | |
| 産業・特産品 | | 名所・旧跡・寺社仏閣 | |
| 米 | メアサ杉 たけのこ わらび ぜんまい しいたけ | 大山祇神社 | 明石山 掛橋坂 |
| 教育施設 | | まつり・イベント | |
| 西浦小学校 | 西浦児童クラブ | グラウンドゴルフ大会 | 六月燈 夏祭り 敬老会 十五夜 鬼火焚き |

5. 協議会の
運営組織図



6. 協議会の主な取組

| 月 | 行事名 | 月 | 行事名 |
|---|---------------------------------------|----|---------------------------------|
| 4 | たけのこ掘り | 9 | 蒲生混成ナイターソフトボール大会 敬老会・運動会・十五夜 |
| 5 | 子どもの日 「グラウンドゴルフ大会」 蒲生壮年バレーボール大会 | 10 | 稲刈り |
| | | 12 | 餅つき・しめなわ作り, 門松作り・鬼火焚き準備 |
| 6 | 田植え | 1 | 拝賀式・新年会・鬼火焚き |
| 7 | 六月燈・美化活動 | 3 | 総会 |
| 8 | 夏祭り | 毎月 | ふれあいいいききサロン |

II 西浦校区の現状と課題

1. 現状

(1) 自治会別人口・世帯数の状況（平成29年5月1日現在）

| 自治会名 | 世帯数 | 男 | 女 | 計 | 15歳未満人口 | 15歳～64歳人口 | 65歳以上人口 (高齢化率) |
|------|-----|-----|-----|-----|---------|-----------|-------------------|
| 松川内 | 16 | 7 | 11 | 18 | 0 | 3 | 15 (83%) |
| 社野 | 30 | 30 | 29 | 59 | 3 | 40 | 16 (27%) |
| 火之宇都 | 26 | 14 | 26 | 40 | 1 | 17 | 22 (55%) |
| 井ヶ屋 | 8 | 6 | 5 | 11 | 0 | 3 | 8 (73%) |
| 西浦団地 | 31 | 46 | 48 | 94 | 26 | 56 | 12 (13%) |
| 西浦下 | 44 | 33 | 39 | 72 | 2 | 29 | 41 (57%) |
| 合計 | 155 | 136 | 158 | 294 | 32 | 148 | 114 (39%) |

(2) 西浦小学校児童数推移

| 年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 29 | 6 | 4 | 1 | 1 | 3 | 3 | 18 |
| 30 | 0 | 6 | 4 | 1 | 1 | 3 | 15 |
| 31 | 4 | 0 | 6 | 4 | 1 | 1 | 16 |
| 32 | 1 | 4 | 0 | 6 | 4 | 1 | 16 |
| 33 | 2 | 1 | 4 | 0 | 6 | 4 | 17 |
| 34 | 0 | 2 | 1 | 4 | 0 | 6 | 13 |
| 35 | 1 | 0 | 2 | 1 | 4 | 0 | 8 |
| 36 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 4 | 10 |

* 29年度誕生の子どもは、36年度入学

2. 課題

(1) 徐々に人口が減少・高齢化も進んでいく

平成27年11月（人口313人）と2年後の平成29年5月を比較すると、2年間で、人口は19人減っている。人口は年を追うごとに、徐々に減ってきている。

世帯数は全体では、18世帯減っている。一人世帯の高齢者が亡くなったことで世帯数が減っているという厳しい現実がある。最も少ない井ヶ屋自治会は8世帯である。他の自治会でも高齢化が進んでおり、自治会どうしの合併という話も出ている。

全体の高齢化率は39%である。それ程高いとはいえないが、15歳未満の人口が少ないので、高齢化はこれから進んでいくものと考えられる。

(2) 少子化・小学校存続に向けた対策が必要である

少子化で小学生のいない自治会が3つある。平成29年度の西浦小学校の児童数は18人であるが、10年先には3人という厳しい統計もあり、小学校存続が危ぶまれている。住民にとっては、小学校の存在自体が、地域の活力源である。小学校とコミュニティ協議会が連携して、小学校存続に向けた取組を早急に行う必要がある。

(3) 豊富な自然の資源はあるが活用されていない

自然豊かでのどかな米作地帯であるが、鳥獣被害は深刻である。野菜や果物が収穫できる時期に、猿・しか・猪などに食い尽くされることが何年も続くので、作物を育てる意欲が失われ、畑や田んぼが活用されていない

ところもある。電気柵などの対策もとられているが、効果があまりない。

また、たけのこやわらび・ぜんまいなどの自然の資源も豊富であるが、産業としては成り立っていない。

(4) 地理的には便利な所であるが、生活する上では不便がある

西浦は始良市の西に位置し、鹿児島市や薩摩川内市、伊佐市、霧島市・曾於市等への通勤に便利な所である。空港バスも通り、交通の便も良い。しかし校区内には店や病院がなく、7キロほど離れた蒲生の町へ行かなければならない。自家用車をもっていない人にとっては、不便である。

また中学校・高校がないため、遠距離通学になる。中学校へは通学バスがあるが、夏休み等の通学バスがないため、部活動などへの参加は保護者が送り迎えをしている。また高校生はバスでの通学ができないため、保護者が帖佐駅等まで送り迎えをしている。

このように高齢者だけでなく、学生も不便を感じているのが現状である。



創立139周年の
西浦小学校

(5) 各分野の長所と課題

ア 地域づくり

| 長 所 | 課 題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 西浦独自の文化がある。 ○ 先人の方々からの様々な文化の継承がある。 ○ 地域住民の交流がある。 | <ul style="list-style-type: none"> △ 2025年問題（65歳以上3人に1人 75歳以上5人に1人） △ 2040年問題（人口減少 鹿児島県 75000人減） △ 現実を受け入れて、行動を起こせる人たちが少ない。 |

イ 青少年育成

| 長 所 | 課 題 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然が豊かで、子育てに良い環境である。 ○ 地域住民が子どもたちによく声掛けをする。 ○ 子どもどうし仲がよく、礼儀正しい。 ○ 地域一体で、小学校を中心に様々な行事を行っている。 ○ 小学生から高校生まですべての校区行事に積極的に参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> △ 子どもの数が少ない。 △ 小学校存続の危機感がある。 △ 交通手段がないため、通学が不便である。 △ 子育て世代が少ない。 △ 農林業の後継者が少ない。 |

ウ スポーツ振興

| 長 所 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の体育館が大きくて、きれい。 ○ 小学校の校庭にナイター設備がある。 | <ul style="list-style-type: none"> △ 人口減少・高齢化が進んでいる。 △ スポーツイベントへの参加者が減少している。 △ 団体スポーツをするのが難しい。 |

エ 地域福祉

| 長 所 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 近所づきあいがあり、日常が楽しい。 ○ 小学校を中心にいろんな行事があり、参加している | <ul style="list-style-type: none"> △ 人口減少と高齢化が進んでいる。 △ 交通の便が悪い。 |

Ⅲ 西浦校区のめざす将来像

1. スローガン

西浦の豊かな恵みを活かし、元気で、安心安全な地域づくり

2. 各分野の基本方針

| | |
|-------|--|
| 地域づくり | 目指す姿 |
| | 自然，資源を利用，活かした地域をつくり，安心・安全・明るい元気な地域を目指す |
| 基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・つながり，きずなを深める。 ・変化を受け入れられる人たちが増えるまちづくりをする。 ・課題抽出をして，課題に取り組める人たちを増やす。 |

| | |
|-------|--|
| 青少年育成 | 目指す姿 |
| | 豊かな体験を通して，西浦のよさを発信できる青少年の育成 |
| 基本方針 | <p>子どもの数が少ないので，地域住民が全員の子どもを知っており，地域の子として大切に目配りをしている。子どもたちは中学校・高校を経て，いつかは大きな世界へと，巣立っていかなければならない。西浦で子どものうちに世代を超えた自然豊かな体験をさせ，西浦のよさを感じ発信できる青少年の育成を目指す。</p> |

| | |
|--------|--|
| スポーツ振興 | 目指す姿 |
| | 「する・観る・支える」スポーツ・レクリエーションの振興による活力ある西浦 |
| 基本方針 | <p>「スポーツ」には，実際に「する」ことによる爽快感や達成感及び仲間との交流による所属感・健康の保持及び増進，「観る」ことによる興奮や感動，「支える」ことによる一体感など様々な効果があるとともに，そのような楽しみ方が生きがいになったり，青少年の健全育成や地域の活性化などにもつながったりすることもある。</p> <p>西浦校区住民が，自分なりの『できたひこ』の楽しみ</p> |

| | |
|--|--|
| | 方により、スポーツ・レクリエーションに親しみ、支え合うことができる活力ある西浦を目指す。 1 「する」スポーツ・レクリエーションの振興 2 「観る」スポーツ・レクリエーションの振興 3 「支える」スポーツ・レクリエーションの振興 4 高齢者の健康・体力づくり・仲間との交流 |
|--|--|

| | |
|------|---|
| 地域福祉 | 目指す姿 |
| | 若者と高齢者の交流，高齢者の見守り活動と生活援助 |
| 基本方針 | 人口増対策をして，特に小学生以下の子どもたちと高齢者の交流を深める。そのためには，いろんな行事に参加させ工夫をこらして交流していく。高齢者が健康で元気な生活を送り，孤立化を防ぐため見守り活動を行う。また高齢者が必要な生活の援助を行う。 |

IV 主な取組と実施時期・役割分担

4つの分野別の基本方針に沿って，今後取り組むべき取組とその時期，役割分担を以下のようにする。

1. 役割分担や実施時期

| 実施時期 | | 役割分担 | |
|------|------------|------|-----------------|
| 短期 | 1～2年で取り組む | 地域 | 校区内で取り組むこと |
| 中期 | 3～5年で取り組む | 協働 | 校区と行政が協働で取り組むこと |
| 長期 | 6～10年で取り組む | 行政 | 行政が取り組むこと |

2. 体系のイメージ

| 将来像 | 分野 | 目指す姿 |
|-----|--------|--|
| | 地域づくり | 自然，資源を利用，活かした地域をつくり，安心・安全・明るい元気な地域を目指す |
| | 青少年育成 | 豊かな体験を通して，西浦のよさを発信できる青少年の育成 |
| | スポーツ振興 | 「する・観る・支える」スポーツ・レクリエーションの振興による活力ある西浦 |
| | 地域福祉 | 若者と高齢者の交流，高齢者の見守り活動と生活援助 |

3.各分野の取組

(1) 地域づくり

| | |
|-------------|--|
| 目指す姿 | 自然，資源を利用，活かした地域をつくり， 安心・安全・明るい元気な地域を目指す |
| 現在取り組んでいること | しめ縄作り，餅つき，大山祇神社祭事，十五夜行事 鬼火焚き，茶摘み，六月燈 |

<今後取り組むこと> 準備期間 ----- 実施 **—————**

| 施策 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|------|----|----|
| | 短期 | 中期 | 長期 | 地域 | 協働 | 行政 |
| 情報発信 | ————— | | | | ○ | |
| 外部の方々を呼び込むイベント企画 | ————— | | | | ○ | |
| 協力的な人たちを増やす | | ————— | | ○ | | |
| 西浦再発見 | ————— | | | ○ | | |
| 自分たちの課題を自分たちが解決できる人たちが増える | | | ————— | ○ | | |
| 資源利用・人的資源の利用 | | | ————— | | ○ | |
| 防災計画 | ————— | | | ○ | | |

◆資源利用

西浦地域全体を利用，開発すること 鳥獣被害対策
農産品，山菜・環境を利用して豊かな地域
(イベント販売，商品開発，イベント誘致，生産)

◆環境整備

花いっぱい運動・不法投棄の防止

◆防災計画

地域の防災計画
犯罪のない安全な地域
声掛け，見守り・見廻り

大山祇神社の
しめ縄作り



(2) 青少年育成

| | |
|-------------|---|
| 目指す姿 | 豊かな体験を通して、西浦のよさを発信できる青少年の育成 |
| 現在取り組んでいること | たけのこ掘り・子どもの日行事（グラウンドゴルフ）・茶摘み・田植え・六月燈・十五夜・稲刈り・鬼火焚き・児童クラブと高齢者との交流・敬老会への参加・年末行事（餅つき・しめなわ作り，門松作り）・拝賀式 |

<今後取り組むこと> 準備期間 ----- 実施 **—————**

| 項目 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|----------------|--------------|--------------|--------------|------|----|----|
| | 短期 | 中期 | 長期 | 地域 | 協働 | 行政 |
| 主体的な子ども会 | ————— | | | ○ | | |
| 小学校と連携した行事の推進 | ————— | | | ○ | | |
| 子ども会と高齢者の交流 | ————— | | | ○ | | |
| 通学バスの確保（夏休みなど） | ----- | ————— | | | ○ | |
| 小学校存続に向けた取組 | ————— | ————— | ————— | | ○ | |



たけのこ掘り



田植え

(3) スポーツ振興

| | |
|-------------|--|
| 目指す姿 | 「する・観る・支える」スポーツ・レクリエーションの振興による活力ある西浦 |
| 現在取り組んでいること | 子どもの日グラウンドゴルフ大会・蒲生壮年バレーボール大会参加・市子連スポーツ大会参加・蒲生混成ナイターソフトボール大会参加・老人クラブ運動会・始良市親睦グラウンドゴルフ大会参加 |

<今後取り組むこと> 準備期間 ----- 実施 **—————**

| 項目 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|------------------------|--------------|--------------|----|------|----|----|
| | 短期 | 中期 | 長期 | 地域 | 協働 | 行政 |
| 校区巡りウォーキング大会 | ————— | | | ○ | | |
| 2020燃ゆる感動かごしま国体応援ツアー | ----- | ————— | | | ○ | |
| 秋の紅葉掛橋坂ハイキング | ————— | | | ○ | | |
| 県中学校総合体育大会バレーボール練習会場提供 | ————— | | | ○ | | |

◆校区巡りウォーキング大会

校区内の史跡等を回る。途中チェックポイント兼接待所（お茶等）を設け、参加者だけでなく地域住民も「支える」ことのできる場とする。

◆2020燃ゆる感動かごしま国体応援ツアー

始良市で開催されるバスケットボール，ライフル射撃，ゴルフの応援ツアー。正式競技だけでなく今後デモンストレーション競技や「第20回全国障害者スポーツ大会」の開催地決定後，そちらも検討する。

◆秋の紅葉掛橋坂ハイキング

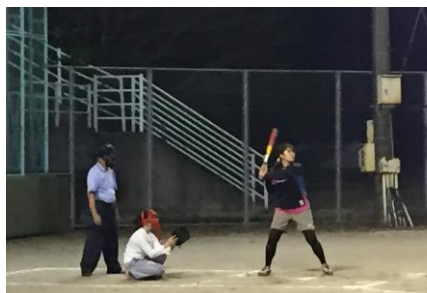
紅葉の時期に掛橋坂を歩き，参加者をもてなす。

◆県中学校総合体育大会バレーボール練習会場サポート

大楠アリーナで行われる同大会の練習会場における校区民のサポート。

◆その他

- サロンにおける大相撲テレビ観戦
- 東京オリンピック・パラリンピックパブリックビューイング



蒲生混成
ナイターソフト
ボール大会

(4) 地域福祉

| | |
|-------------|---------------------------|
| 目指す姿 | 若者と高齢者の交流, 高齢者の見守り活動と生活援助 |
| 現在取り組んでいること | 敬老会・サロン(月1回)・餅つき大会 |

<今後取り組むこと>

準備期間 -----

実施 _____

| 項目 | 実施時期 | | | 役割分担 | | |
|------------------|-------|-------|----|------|----|----|
| | 短期 | 中期 | 長期 | 地域 | 協働 | 行政 |
| サロンの充実 | _____ | | | ○ | | |
| 買物代行・ゴミ出しなどの生活援助 | | _____ | | ○ | | |
| 敬老会等行事の参加工夫 | | _____ | | ○ | | |
| 交流親睦会の企画 | | _____ | | ○ | | |



子どもと高齢者との交流



七夕飾り

V 計画の推進に向けて

- 校区振興計画を各家庭に配布し、総会や校区だよりで住民に広報する。
始良市ホームページに掲載し発信する。
- 計画の推進に当たっては、各部で計画立案し、運営委員会で話し合いを行う。予算を伴う場合は校区担当の行政職員にも参画してもらい、連携を密にする。
- 計画の実施に当たっては、地域人材の適材適所に努める。
- 計画の実施に当たっては、進捗状況を常に把握し、運営委員会での話し合いのもと、必要によっては修正を行いながら推進する。
- 運営委員会で決定できないときは総会にはかり、話し合って決定する。

VI 資料編

1. 計画作成の経過

| 回 | 期日 | 話し合いの内容 |
|---|--------|--|
| 1 | 5月27日 | ・まちづくりプランについて（内容・意義） ・メンバーについて ・スケジュールについて |
| 2 | 6月17日 | ・西浦の現状や課題の把握方法について ・現状把握のアンケート内容について |
| 3 | 8月19日 | ・アンケートの集約について ・アンケートを基にした意見交換 |
| 4 | 10月14日 | ・分野ごとに分かれた話し合い 目指す姿，基本方針，今後の取り組み |
| 5 | 11月11日 | ・各分野の目指す姿，基本方針，今後の取り組みについて ・全体のスローガンについて |
| 6 | 12月9日 | ・冊子原稿の検討 |
| 7 | 2月10日 | ・冊子の配布・活用方法について |

2. 西浦校区まちづくりプラン作成委員会の委員名

| No. | 役 職 | 氏 名 | 作成委員会での班名 |
|-----|----------------------------|--------|-----------|
| 1 | 西浦校区コミュニティ協議会会長 | 本村 正一 | 地域づくり班 |
| 2 | 西浦校区コミュニティ協議会総務部長 | 伊東 奈及美 | 地域づくり班 |
| 3 | 西浦校区コミュニティ協議会スポーツ振興部長 | 本村 信一 | スポーツ振興班 |
| 4 | 西浦校区コミュニティ協議会青少年育成・地域づくり部長 | 平田 博美 | 青少年育成班 |
| 5 | 西浦校区コミュニティ協議会地域福祉部長 | 朝倉 小糸 | 地域福祉班 |
| 6 | 松川内自治会長 | 関 寛夫 | 地域福祉班 |
| 7 | 社野自治会長 | 甲斐 一寛 | 地域福祉班 |
| 8 | 火之宇都自治会長 | 本野 清美 | スポーツ振興班 |
| 9 | 小学校長 | 清水 泰博 | スポーツ振興班 |

| | | | |
|----|-----------------|--------|---------|
| 10 | 小学校教頭 | 塩屋 みゆき | 青少年育成班 |
| 11 | 小学校PTA会長 | 時任 広樹 | 青少年育成班 |
| 12 | 民生委員 | 高安 マリ子 | 地域福祉班 |
| 13 | 消防上場分団長 | 原田 良孝 | 地域づくり班 |
| 14 | 有志 | 本村 勝行 | スポーツ振興班 |
| 15 | 有志 | 柳田 浩美 | 地域づくり班 |
| 16 | 西浦校区コミュニティ協議会会計 | 永田 葉子 | 青少年育成班 |



| 長 所 |
|--|
| <p>○自然が豊かである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星がきれい ・水・空気がおいしい ・静かで住みやすい ・桜島の降灰がほとんどない ・ほたるが生息 ・自然の恵み <ul style="list-style-type: none"> 山菜が豊富（たけのこ・わらび・ぜんまいなど） ・おいしい米 <p>○災害が少なく，災害に強い。</p> <p>○近所隣のつながりが強い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しく，親切，相互扶助の精神がある ・協力体制がある ・地域で行事を行ない，子どもを見守る体制ができている ・子どもどうし仲が良い <p>○県道が通り，交通事情が良い。</p> |
| 課 題 |
| <p>△人口減少・高齢化がすすんでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない ・田畑の維持管理ができない ・空き家が多い <p>△野生動物の被害がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物が荒らされ，作物が作れない <p>△自然への恐れがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨時のがけ崩れ ・道路横の木や草 <p>△不便を感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物・銀行・美容院がない ・通院（バスの便が少ない　バス停まで遠い　バスを降りてからも遠い） ・通学（中学生・高校生） ・介護施設がない ・センター以外に集う場所がない ・街路灯がないため，夜道が暗い ・光回線が通じていない |

将 来 像

みんながいつまでも住みたいと思う西浦に

◎自然の宝物の活用をしたい。

◎人口増対策を行う。

- ・団地・アパート・貸家
- ・古民家・空屋リフォーム
- ・田舎生活希望者の募集

◎高齢者への対策を行う。

- ・交通の便の増加
- ・周遊タクシーの導入（通院・買い物・銀行など）
- ・タクシー利用の半額補助
- ・買い物や理容などの出張
- ・1軒1軒をつなぐ車・連絡網
- ・移動販売車・移動図書館（月2回小学校訪問）
- ・介護施設

◎こんな施設や物などがほしい。

- ・自然体験できる長期滞在施設
- ・小さな食堂
- ・温泉
- ・JA跡地の活用（塾・物産館・100円野菜売り場）
- ・店（日常のものが買える）
- ・掛橋坂に店
- ・光回線
- ・カーブミラー
- ・市の水道の配置

◎行事

- ・年1回明石山登山
- ・掛橋坂ハイキング
- ・スポーツイベント
- ・泥んこスポーツ
- ・野外ライブ
- ・半年に1回の地域全員参加座談会



【 稲刈り時の掛け干し作業 】

西浦校区まちづくりプラン 平成 30 年 3 月作成

発行：西浦校区コミュニティ協議会

〒 899-5306

始良市蒲生町西浦 8 2 8 番地 1

Tel : 0995-73-8641

Fax : 0995-73-8648

E-mail : nisiura-aikomi@po5.synapse.ne.jp